

<新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種体制>

**質問** 県が主導する大規模接種会場での医療従事者の確保と、県北地域など実施個所の拡大について伺いたい。



予算特別委員会で質疑

**知事** 県庁福利厚生棟については、医療人材派遣・紹介会社を活用し、必要な医療従事者を確保した。その他4か所の大規模接種会場についても同様に、市町村の接種体制に負担をかけることがないよう、県内外から広く医療従事者を確保していく。最終的なゴールは集団免疫を獲得すること。一般の方々を、ある程度の優先順位にも配慮しながらも接種を進めていくことが、非常に重要である。各市町村をしっかり支援しながら、できる限りの加速化した接種体制を組んでいきたい。

**質問** 企業や大学等の職域接種について、どの様子を考え取組んでいくのか。

**答弁** 職域接種については自治体による接種とは別のリソースを有効活用し、関係する企業、団体等に対して、積極的な活用を呼びかけたところである。また、職域接種における接種状況の管理については、接種記録が被接種者の住民票所在地の市町村に共有されることとなる。申請内容に記載不備がないことや、市町村における接種体制に影響を与えないことを確認のうえ、問題がなければ国に申請書を提出するため、こうした事務を遅滞なく執行することで、職域接種の円滑な実施につなげていく。

<教育行政>

**質問** 小中学校へのタブレット端末の導入状況やGIGAスクールサポーター等の配置を含めた教員へのサポート体制について伺いたい。

**答弁** 端末等の導入状況については、昨年度中に県内全ての学校で整備が済んでいる。GIGAスクールサポーターなどの配置状況については、昨年度は15市町村、今年度は9市町の配置が完了している。現在、教員一人ひとりのレベルやニーズに応じた研修を実施するとともに、モデル校の授業公開を通じた研修をおこなう等、研修の充実を図っている。県独自の教員向けICT活用支援ポータルサイトを活用し、教員へのサポート体制の強化を図っていく。

**質問** 小学校高学年への教科担任制の導入に向け、専科指導教員の人材確保にどのように取組んでいくのか。

**答弁** 今年度は、退職教員に働きかけをおこなうほか、短時間勤務で専科指導に従事している再任用教諭に複数校での兼務を依頼した。来年度以降は、1次試験を、他県との併願が可能となる6月に前倒しするとともに東京など県外にも試験会場を設ける。

<河川状況の情報提供>

**質問** 機材設置の現状を含めた監視体制の整備について、国や地元市町村との連携について伺いたい。

**答弁** 平成27年を契機に水位計や河川監視カメラの拡充をしてきた。水位計は111河川で合計244箇所への設置が完了し、河川監視カメラは71河川で合計134箇所への設置が完了した。国や地元市町村との連携については、水位計やカメラの設置にあたり、事前に調整をおこない、役割分担を明確にし、適切な箇所への設置を進めてきた。

**質問** どのように河川水位の分かりやすい情報提供をおこなっていくのか。

**答弁** 県ホームページ「茨城県河川情報システム」のレイアウトの変更など、より分かりやすくなるような改善を進める。それに加え、リーフレットにより「茨城県河川情報システム」を紹介してきた。今後は、市町村の広報誌やホームページなどに掲載していく。

ノーサイド

皆様の日頃か  
編集後記 No Side  
協力に心から感謝申し上げます。  
新型コロナウイルスの感染拡大の歯止めが掛からない中、高齢者の方々へのワクチン接種が始まりました。このワクチン接種は新型コロナ感染症対策の切り札とされており、国をあげていかに早

く多くの方々に接種できるかが大きな課題となっています。  
ご承知のようにワクチン接種は、医療従事者から65歳以上の方々へと、順位付けて接種を進めていますが、国は高齢者への接種を7月末までに終了することを要請しています。そのため、県は水戸地区の他4か所に大規模接種会場を

設置することとしました。  
一方で、企業・大学等の職域接種も始まり、ワクチン接種のスピードが飛躍的に高くなることが期待されています。現状を鑑みるとワクチン接種が大きな希望であり、希望する全ての方々に対してワクチン接種が実施できるよう全力で取組んでまいります。



茨城県議会議員 高安博明

Twitterはじめました! 高安ひろあきを応援してください  
日々の政治活動や、皆様のお役に立つ行政情報などを発信しています。ぜひ、フォローをお願いします!



第2回定例会を開催

新型コロナウイルス感染対策等に  
393億円の補正予算 県主導のワクチン大規模接種会場運営費等を追加へ

令和3年度第2回定例会は、6月1日から6月18日まで18日間の日程で開催しました。上程された議案は令和3年度一般会計補正予算や条例、その他の議案を含め計22件です。

委員会等での慎重審議の結果、議員提案の2件を除き、賛成多数をもって原案可決・承認となりました。今回の補正予算は、追加補正を含めて約393億円の大きな予算額となりました。

令和3年度一般会計補正予算

393億円3,700万円

(追加補正予算額371億7,500万円を含む)

6月補正予算における事業(抜粋)

6月の議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や県内産業等への支援などに必要な予算の計上について、スピード感をもって対応するための予算案が審議されました。

感染症予防医療法施行事業

検査体制、ワクチン接種体制を整備

新たな検査体制を構築するとともに、市町村に対してワクチン接種における医師・看護師等を確保するための費用を補助します。



<事業概要>

1. 新たな検査体制の構築
  - ・感染が拡大している地域に対する積極的なPCR検査を実施
  - ・検査対象(例): 感染拡大市町村のうち、特に感染者を多数確認している地域の住民等
2. 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業
  - ・時間外・休日に集団接種会場へ医師等医療従事者を派遣する医療機関に対する補助
  - ・補助上限額(1人1時間あたり): (1) 医師: 7,550円 (2) 医師以外の医療従事者: 2,760円

いば旅あんしん割事業

県内の宿泊旅行を割引支援

「新型コロナウイルス感染症の検査」と「旅行」を紐付けた支援制度の対象期間を延長するとともに、内容を拡充し、宿泊旅行需要の回復を図ります。



<事業概要>

- ・支援対象: 旅行日の1週間以内に検査(抗原定量検査またはPCR検査)を受診した県民に限定
- ・支援内容: 県内の宿泊旅行を割引支援(同一旅行で2泊分まで)
- <実施時期> (コロナNextステージII以下で、感染が一定程度抑制されている場合に実施)
- ・期限は12月31日宿泊分まで、8月31日までの予約分が対象



## 6月追加補正予算における事業（抜粋）

国の交付金の追加配分等を受けて、ワクチン大規模接種会場の設置等の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や、営業時間短縮要請に応じた事業者等への支援など、早急な対応が求められる課題について必要な事業を計上しました。

### 感染症予防医療法施行事業

#### 大規模接種会場設置と医療機関支援

県による大規模接種会場の設置や個別接種を実施する医療機関などを支援します。

##### 〈事業概要〉

1. 大規模接種会場の設置
  - ・6月中旬から、県庁福利厚生棟ほか県内複数か所に設置予定。1会場あたり1日約1,000人の接種
2. 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業
  - ・①個別接種をおこなう診療所、②50回以上/日の接種をおこなう医療機関に支援。②で週1日以上4週間以上おこなう病院の医師・看護師に対し支援
3. 看護学生に係る実習前PCR検査費補助

### 介護施設等感染拡大防止事業

#### 感染対策の追加対応への経費を補助

新型コロナウイルス感染症で施設内療養をおこなう介護サービス施設に対し、感染対策の徹底、療養の質及び体制の確保等をおこなうことができるよう支援します。

##### 〈事業概要〉

施設内のゾーニング実施や状態急変に備えた健康観察など、療養者毎に要する追加的対応へのかかり増し経費を補助  
 補助先：施設内療養をおこなった介護サービス施設  
 補助額：施設内療養者一人あたり15万円（15日以内に入院した場合は、療養期間に応じて1万円/日を日割り補助）  
 適用：令和3年4月1日から

### 新型コロナウイルス感染症対策営業時間短縮要請協力金

#### 時短要請に応じた事業者へ協力金

県の営業時間短縮要請に応じた対象施設の事業者へ協力金を支給します。

##### 〈事業概要〉

対象施設：該当市町村に所在する飲食店のうち、要請期間すべてに協力した事業者（いばらきアマビエちゃんへの事業者登録は支給要件）

### 営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金

#### 売上減少の事業者へ一時金

主な事業が県の営業時間短縮要請及び外出自粛要請の影響を受け、売上が大きく減少した事業者に対し、県独自の一時金を支給します。

##### 〈事業概要〉

支給対象：①営業時間短縮要請に協力した飲食店等と直接取引がある事業者、②外出自粛要請により直接的な影響を受けた、主に対面で個人向けに商品・サービスを提供する事業者  
 主な要件：令和3年4月から6月のいずれかの月の売上が、対前年（対前々年）同月比で30%以上減少していること

支給額：1事業者当たり一律20万円（1回限り）

申請期間：6月下旬受付開始予定

### 新規 宿泊事業者感染対策支援事業

#### 宿泊事業者の物品の購入等に補助

宿泊事業者の感染拡大防止策強化に要する費用を支援し、旅行者が安心して旅行できる環境の整備を図ります。

##### 〈事業概要〉

補助対象：県内宿泊事業者（旅館業法の許可を受けている者）  
 補助対象経費：①感染症対策に資する物品の購入等、②前向き投資に要する経費（令和2年5月14日まで適応可）  
 補助率：1/2  
 補助上限：最大500万円

支給額：

区分	年間の売上高	～3,000万円 （～7.5万円 <sup>※1</sup> /日）	3,000万円～1億円 （7.5 <sup>※1</sup> ～25万円/日）	1億円～ （25万円～/日）
中小企業 <sup>※2</sup>	国の緊急事態地域又はまん延防止等重点地域	3万円	3～10万円 （1日の平均売上高の4割）	10万円
	その他地域	2.5万円	2.5～7.5万円 （1日の平均売上高の3割）	7.5万円
大企業	全ての地域	1日当たりの売上高の減少額×0.4 （上限20万円/日・店舗）		

※1 その他地域の場合は約8.3万円

※2 中小企業であっても、大企業と同様の算定方式を選択可能

### 新規 カーボンニュートラル技術実証推進事業

#### 調査実施、産業拠点創出へ事務局運営

カーボンニュートラルの実現に向けた技術・研究シーズの調査をおこない、当該技術・研究開発の促進と本県産業の新たな成長分野への進出を支援します。

##### 〈事業概要〉

1. カーボンニュートラル関連技術動向調査
  - ・研究機関、企業の技術開発動向、研究シーズの調査
2. いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクトの運営



### 新規 茨城まるごとお取り寄せ事業（新規）

#### ネット活用で県産品の消費・販路拡大

外出自粛や各種イベントの中止等による物産事業者の深刻な経営状況を踏まえ、インターネット販売を活用した本県産品の消費・販路拡大及び認知度向上を図ります。

##### 〈事業概要〉

1. 県産品販売促進キャンペーン
  - ・「いばらき県産品お取り寄せサイト」において全商品の割引販売を実施
2. テレビ等を活用したキャンペーン
  - ・テレビ・ネットCM等を活用した「いばらき県産品お取り寄せサイト」のPRを実施
3. プレゼントキャンペーン
  - ・購入者を対象に、毎月抽選で100名にプレゼント企画を実施（ペア航空券、ペア宿泊券、体験アクティビティ利用券等）※期間中に8回実施

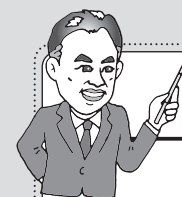
### 新規 茨城空港発着遊覧飛行運航支援事業

#### 運航経費の一部を支援

落ち込んだ航空需要を喚起し、今後の茨城空港の利用を促進するため、茨城空港発着の遊覧飛行の誘致に向けて、運航経費の一部を支援します。

##### 〈事業概要〉

補助対象事業者：遊覧飛行を運航する航空会社  
 補助対象経費：遊覧飛行で使用する航空機のフェリー（回送）に係る経費（人件費、燃料費等）  
 補助基準額：2百万円/回（想定回数：3回程度）



## ハーフタイム Half Time 高安ひろあきのキーワード解説

このコーナーでは、茨城県の取組みに関わるキーワードを解説します。

### 今回のキーワード 大規模接種会場について

## 県主導での大規模接種会場を開設します

茨城県庁福利厚生棟において、6月13日（日）から県による大規模接種が開始されました。茨城県庁以外でも、阿見町の県立医療大学、つくば市の産業技術総合研究所、古河市の古河市生涯学習センター総和、神栖市の鹿島セントラルホテルの4か所です。7月上旬から大規模接種が開始されます（調整がついた施設から随時開設）。

各会場とも、市町村の予約システム・コールセンター等により受付予定です。ぜひ、大規模接種会場を活用してコロナ対策に取組んでください。

施設名	①	②	③	④	⑤
茨城県庁福利厚生棟	県立医療大学	産業技術総合研究所	古河市生涯学習センター総和	鹿島セントラルホテル	
所在地	水戸市	阿見町	つくば市	古河市	神栖市
接種者数（1日あたり）	約1,000人	約1,000人	約1,000人	約900人	約700人
開始予定時期	6月13日（日）～	7月上旬（調整がついた施設から随時開設）			

大規模接種会場は、調整がついた施設から随時開設されますので、県のホームページをチェックしてみてください。

